

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第180号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成22年7月30日 6時25分ごろ	
発生場所	香川県高松市女木島東方 女木港鬼ヶ島防波堤灯台から真方位047° 1.7海里付近 (概位 北緯34°23.9′ 東経134°03.9′)	
事故等調査の経過	平成22年10月21日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第三福和丸 ^{ふくわ} 、498トン	
船舶番号、船舶所有者等	134599、合資会社大坪組	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、碎石約1,100m ³ を積載し、女木島東方沖を約12ノット（対地速力）で高松港の工事現場に向かって南進中、平成22年7月30日06時25分ごろ、女木島東方の砂地の浅瀬に座洲した。	
気象・海象	気象：天気 晴、風向 南南西、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期、潮高 約1.1m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、女木島東方沖を南進中、船長が、工事現場への接近方法の検討に意識を集中し、女木島東方の浅瀬の存在を失念したことから、浅瀬に座洲したものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、女木島東方沖を南進中、船長が女木島東方の浅瀬の存在を失念したため、同浅瀬に座洲したことにより発生したものと考えられる。	